

柏木 みみこ

バスト Dカップ
乳輪 直径4cm
クリ長 1.8cm
尿道口 2.5mm



「それじゃあ色々調べていくからね♡」
「はあ、はあ、よろしくお願いします。」



ビクッ

トロ

とろ

クリ

ビクッ

ビクッ

はあ

はあ

「なんだ、おまんこがもうべちゃべちゃじゃないか。クリもすごい勃起だ。こんなに期待されてちや、今日は死ぬほどイかせてやるしかないな。」
「はあはあ、私のおまんこ、そんな事になってるんですか……♡」
「そうだよ、自分のお汁でヌルヌルに濡れた尿道口とクリが、早く気持ちよくなりたくてヒクヒクと蠢いていると。」
「ああ……すぐく恥ずかしい……」



「まずはこのヌルヌルのクリを、指で擦ってイかせてあげてあげるからね。」

「あああ…♡気持ちイイ…♡」

「すぐにイっちゃいそうだね♡」

「つまんでいる指に、クリのビクビクが伝わってくるよ♡」

「ああ♡すぐにイっちゃいそうですう…♡」

キュッ

ビクッ

ビクッ

ビクッ

はあ

はあ



『ああああああ♡イクウウウ♡』
『ヨーシヨシ、立派な潮吹きだ♡』



「それじゃあ次はこれを使おう。見えるかな？」

「これは...？」

「尿道に入れて、膀胱の中のオシッコをかき回しながら、おまんこを気持ちよくしてあげるよ♡」

「ひい...♡」

グッ
グッ
グッ

（はあ）
（はあ）



「いっ♡」
「どうかありません？」
「ふ、不思議な感じがします♡」
「あれ？尿道責めは初めてだったのかな？」
「初めてです♡」
「そうなんだい、開発し甲斐があるね♡」



「さて、おまんこにも入れてあげよう。」
「はあん♡おちんぽ...きたあ...♡」



ビクッ
ビクッ
ビクッ

ウイイ
ウイイ
ウイイ

ビクッ
ビクッ

はあ
はあ
はあ
はあ
はあ
はあ
はあ
はあ

「尿道バイブスイッチオン♪」
「おっー!!」
「ほくら、おまんこと尿道同時にエッチされるの
気持ち良いだろ?」
「う、うう...尿道、すっぴい♡」



「おつ、尿道側から押し出されて、
クリも元気に勃起してきたぞ♡」
「ほおつ♡」

ウイイイ

キュッ

まあ
はあ
はあ
はあ
はあ
はあ
はあ
はあ



スッスッスッ

コリコリ

まあ
はあ
はあ
はあ

「うおおっ♡おまんこの中がすびっしり♡
全部のエッチ穴とクリを弄り回されて、
下半身が感じまくってるようだな!」
「はいっ♡はいっ♡感じまくってますっ♡
私の身体のエッチなトコロ、
全部感じまくってイキそうなんですっ♡」
「特にどこでイキそうなのか言ってみる!」
「クリです!」



スズッ スズッ スズッ スズッ

コリコリ コリコリ コリコリ コリコリ



はぁ はぁ はぁ はぁ

「よしーじやあクリトリスを
コリコリ擦り回してやるからイケロー
「ああああっ♡クリンキしますうんうん♡♡♡」



「おおおっおまん」絞まるうー
「ひんっ♡イキたてクリのおまん」
赤ちゃんミルクきたあ♡

ドッ
グッ

ハッ
グッ
グッ

ドッ
グッ

(はあ)
(はあ)
(はあ)
(はあ)
(はあ)
(はあ)



「ふう、スッキリした...」

「はあはあ♡」

「この女まだ盛ってやがるな。もう少し遊んでいくか。」

「じゃあ尿道バイブを引き抜くから、

そのタイミングに合わせて思いっきりイキんでみようか？」

「は、はい...？」

「そうすると膀胱のおシッコが全部出て

すぐくスッキリするからやつてごらん」

「は、はい♡」

「3、2、1...」

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

ベグッ

ベグッ

ベグッ

ベグッ

ベグッ

ベグッ

ズ

ズ



「スッキリしたところで悪いけど、空っぽになった膀胱に、この生理食塩水をたっぷり入れちゃうよ♡」
「え…?」



尿道にコレを入れるからね。」

「あ……あ……あ……」

「パンパンになった膀胱と、尿道の丁度クリの裏側から、このイキまくってしおれたクリを強制的にバッキバキのフル勃起状態にして、クリシコで連続イキをしようか♡」

「ひいっ……」

「ん……？何されるか想像しただけでイったの？エッチだね♡」

ベグッ

ベグッ

ベグッ

ベグッ

ベグッ

ベグッ

ベグッ

はあ

はあ

ズ

ズ



「じゃあ生理食塩水を注入していくよ。」

(はあ)

(はあ)

ビクッ

ビクッ

ビクッ

ぷっ

っ

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん



ニャ
ニャ

ビ
グ
ツ

ビ
グ
ツ

ビ
グ
ツ

ビ
グ
ツ

ビ
グ
ツ

(は
あ)

(は
あ)

(は
あ)

(は
あ)

(は
あ)

(は
あ)

「あー♡あー♡入ってほくらう♡」
「この調子で全部入れていくね♡」



あー

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

あー

あー

はあ

はあ

はあ

はあ

あー

あー

「あと少しだよ」
「おー♡おー♡」



ベグッ

ベグッ

ベグッ

ベグッ

ベグッ

ベグッ

ベグッ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

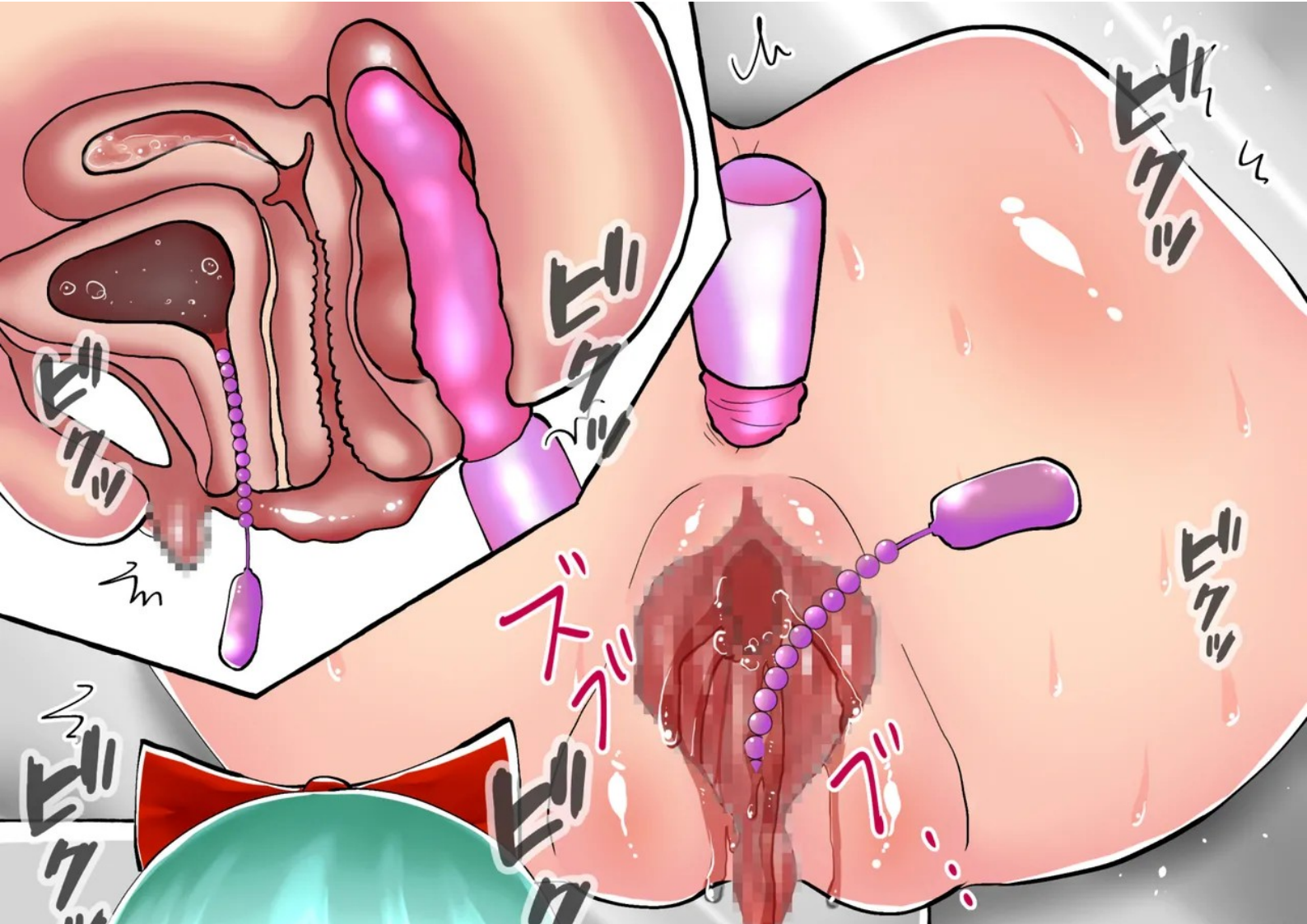
はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

「全部入った♡」
「おっ♡(おしっこしたい♡)」



「次はこれね♡」
「ああ！これじゃあ、おしっこ穴が塞がって、おしっこできません！♡」
「クリの裏側はこの辺りかな？」
「あッ♡」



「お、クリが反応してるな。それじゃあ、コイツで一気に勃起させてやるわ。」

ベグッ

ベグッ

ベグッ

ベグッ

ビュッ

ビュッ

ベグッ

ベグッ

ズ

ズ

ズ

ズ



「そして、尿道側から擦つてやると...」
「あああああああッ...」
「いいイキっぷりだw
続けて膀胱のナカもかき回してやるからな♡」

まあ
まあ
まあ
まあ
まあ
まあ
まあ

ベグッ

ベグッ

ズグッ

ズグッ

ベグッ

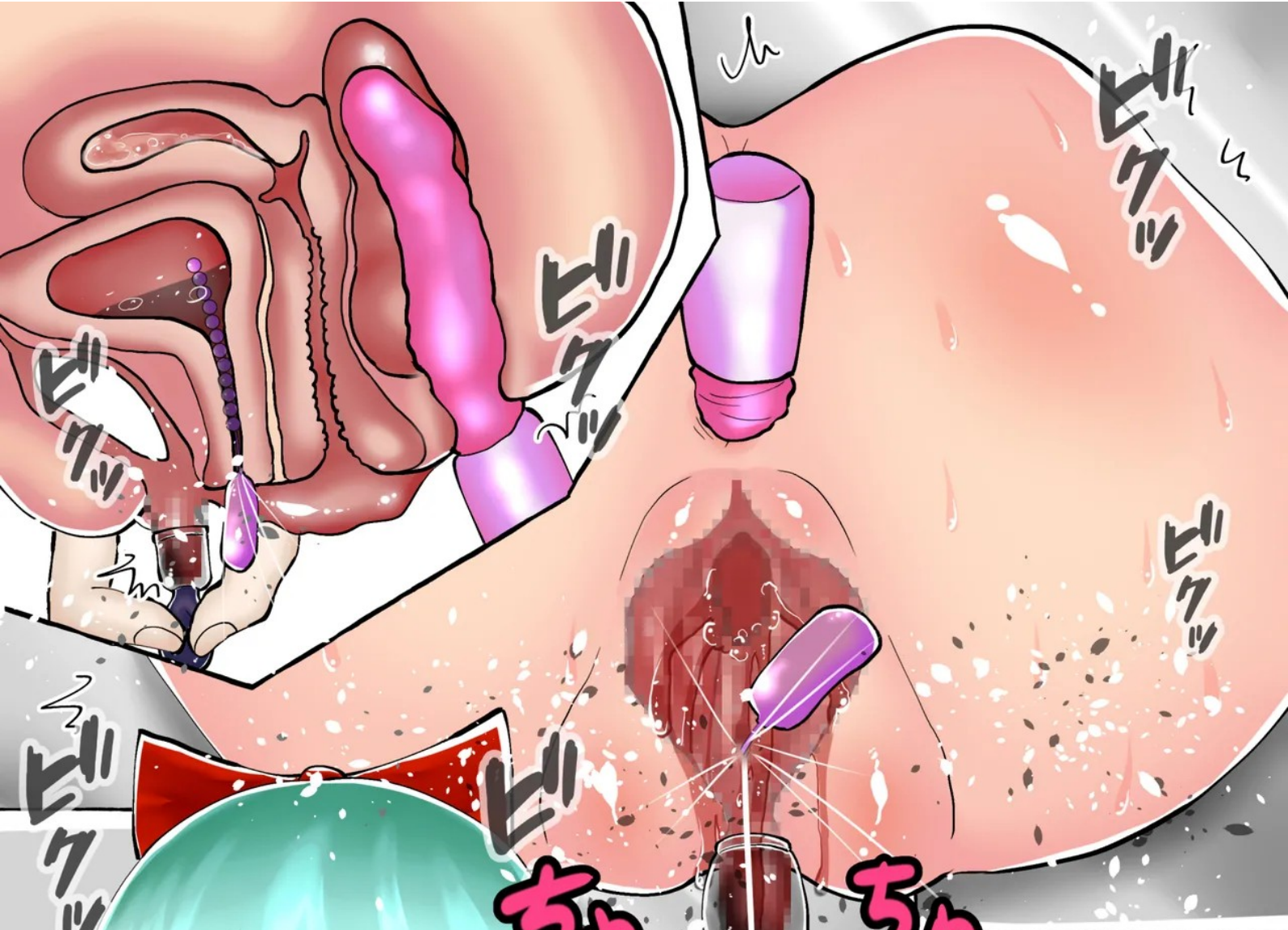
ベグッ

ベグッ

まあ
まあ
まあ

まあ
まあ
まあ

ズグッ



「んおっーんおっー……」
「クリ吸引されながらおしっこ撒き散らして
変態イキするのは気持ちイイか？」
「わがっ、わがなんないっ……おおっ……」



ベグッ

ベグ
「ははは、もう吸引機に収まらないサイズにクリが肥大しているぞw
よくこの短時間で立派なクリチンポに育ったなあw」
「ひぎい...♡」

ベグッ

ベグッ

ベグッ

ベグッ

ベグッ

ベグッ

ベグッ

ベグッ

ベグッ



ベグッ

ベグッ

ベグッ

ベグッ

ベグッ

ベグッ

はぁ

はぁ

「こんなに膨れ上がって！悪いクリトリスだ♡
丸でオチンチンみたいだぞ！シコシコしてやるからな！」
「もっ！もうシコシコしないでエ！イケない！！！」
「なに言ってるんだ！」
「こんなにシコシコしてほしそうなクリ初めて見たぞ！」
「も……ムリ……ッ！」

はぁ

はぁ



「イケイケ！クリに集中しろ！お前ならイケる！」
「ほっ、ほっ、ほっ♡」

シヨシヨ
シヨシヨ
シヨシヨ
シヨシヨ

（はあ）

（はあ）

ベグッ
ベグッ

ベグッ
ベグッ

ベグッ

ベグッ
ベグッ

シヨシヨ
シヨシヨ

シヨシヨ
シヨシヨ

シヨシヨ
シヨシヨ

シヨシヨ
シヨシヨ

シヨシヨ





「もうすっかり尿道イキをマスターしたみたいだね♡
これからも自分で尿道責めが出来るように、
この玩具はプレゼントするよ。」
「あ…あ…」

ベグッ

ベグッ

ベグッ

ベグッ

ベグッ

ベグッ

はあ

はあ



「それにしても、元から立派だったけどこのクリ、尿道から吸引機やらでたっぷり絞られて完全に完成されてしまったな…w
でもいいかい、ここで満足しちゃいけないぞw
このデカクリを維持する為に、毎日クリオナでこのクリチンポを鍛えていかないと♡わかった？」
「は、はい…♡」